

## 城北中学校区新統合小学校開校に向けた地域懇談会を開催しました

令和7年4月に予定している城北中学校区新統合小学校開校に向けた地域懇談会を、11月28日、12月1日の4日間、城北中学校区の4つの小学校を会場に開催しました。飯山市では、新統合小学校の開校に向け、今年度「城北中学校区新統合小学校開校計画推進会議」を組織。城北中学校区の区長さんをはじめとした地域の方、保育園・小中学校

の保護者、学校の先生など多くの方々に各検討部会等に委員として参加いただき、各種検討を行っています。

今回の地域懇談会は、校名や通学方法など、開校に向けたこれまでの各検討組織での検討状況や今後の計画を説明し、保護者や地域の方々のご意見を伺うことにより、より良い学校づくりを進めていくことを目的に開催したもので、延べ124名の方々にご参加いただきました。



常盤小学校での地域懇談会の様子

参加された方からは、通学方法や児童クラブの運営方法などを中心に多くの要望や意見が出され、今後、推進会議の各検討部会等では、それらをもとに、引き続き検討を行っていく計画です。

開校に向けた検討状況については、「開校準備ニュース」や飯山市ホームページで随時情報をお伝えしていきます。お問い合わせ 子ども育成課学校教育係 電話67-0741(課代表)



QRコードでホームページをチェック

## 新統合小学校開校に向けた今後の主な計画 (令和4年12月現在の予定)

- 校名 8月～10月に公募した校名候補をもとに校名分科会で検討し、令和5年2月頃までに校名を決定。
- 校章 校名決定後に公募を行い、公募作品をもとに校章分科会で検討のうえ、令和5年中に決定。
- 校歌 令和5年3月頃までに、校歌のコンセプトや、作詞作曲を依頼する作者を校歌分科会で検討し、令和6年9月頃までに校歌を完成。
- 通学方法 地域懇談会での意見・要望、小中学校保護者アンケート結果、バス停候補地や通学路の現地調査の実施結果を踏まえ通学方法等検討委員会で検討し、令和5年7月頃までに通学路・通学方法を決定。

## 飯山栄チームは「北信合同チーム」として見事入賞 第71回長野県縦断駅伝競走大会



北信合同チームの選手・コーチ・役員として参加した飯山栄の皆さん

### 出場選手の皆さん (飯山栄チーム関係、敬称略)

1区 齋藤 里莉奈 ⑩	8区 佐藤 聖也 ⑧
3区 田中 秀磨 ③	10区 服部 真仁 ③
4区 宮川 健太 ⑥	14区 鷲野 彪雅 ②
7区 竹内 明里 ⑧	※丸数字は区間順位

11月20日、長野市から岡谷市までの16区間117キロをタスキでつなぐ、第71回長野県縦断駅伝競走大会が開催されました。

新型コロナウイルス感染症の影響で3年ぶりの開催となった今大会。従来の2日間から1日みの開催となったほか、高校生以上の参加選手には参加標準記録が設定されたことから、飯山栄は、千曲坂城・須坂上高井・上水内チームと「北信合同チーム」を結成。飯山栄からは参加標準記録をクリアした選手に中学生を加え、7名が代表に選出されました。

北信合同チームでタスキをつないだ飯山栄の選手は、レベルの高い高速レースにあっても、それぞれの持ち味を発揮してチームに大きく貢献。10チームが競う中で、北信合同チームは総合6位入賞という成績をおさめました。テレビ飯山など県内ケーブルテレビ局で生中継された今大会。市民の皆さんからの温かいご声援

ありがとうございました。

## 人権尊重のやさしいまちづくり思いやりと温もりの地域づくりを「差別のない明るい飯山市を築く市民大会」開催

12月3日、飯山市文化交流館なちゅらで「第50回差別のない明るい飯山市を築く市民大会」を開催しました。

この大会は市民一人ひとりが人権問題を自らの問題と受け止め、それぞれの立場で人権が尊重され、差別のない明るい飯山市の実現に向けて主体的かつ積極的に取り組みを進めていくことを目的に開催したものです。

当日は市民約200人が参加。小中学校児童生徒の人権作文発表、シンガーソングライターのみみさんによるコンサートなどが行われ、改め



小中学生による人権作文の発表



会場では市内小中学校の児童生徒による人権ポスター・標語を展示

て人権の大切さを認識する催しとなりました。

飯山市では今年、「差別のない明るい飯山市を築く条例」の一部を改正。あらゆる人権問題に関する相談体制の充実を図ることを規定しました。市では人権問題に関するご相談を随時受け付けており、飯山市人権福祉センターや、法務大臣から委嘱された人権擁護委員などが問題解決のお手伝いをしています。相談された方は、ぜひご連絡ください。

お問い合わせ 人権政策課 ☎671-0743または飯山市人権福祉センター ☎811-3101

## 人権学習シリーズ

### どんな気持ち

しるやま保育園長 小林 美費

保育園の子どもたちは、朝の長時間保育から始まり、夕方長時間保育まで保育園で過ごします。4月、朝の長時間保育のときのことです。入園当初、まだ慣れずに泣いて登園して来る小さいお友だち。そんなとき、年長さんの子どもたちが、「せんせい、Aちゃんはこのおもちゃが好きなんだよ。」と、おもちゃを渡して一緒に遊んであげてくれました。するとその子も泣き止み、一緒に遊び始めました。毎日一緒に生活していると、子どもたちも友だちが何のおもちゃが好きなのかや、関わり方もわかり、やさしい気持ちで育っているのだと感じました。

保育園では、日々の生活が人権を育むことにつながっています。7月になかよし週間を設けて、クラス毎、年齢に合ったクラスの課題などを出し合い、それに合わせて子どもたちも保育士も一緒に

に人権について考える機会にしています。年少さんのクラスではふわふわの綿とちくちくの形の画用紙を見せて話をしていました。綿を触らせて、「どんな感じがするか聞いてみると」「ふわふわしてる」「きもちいい」「あったかいきもちがする」また、ちくちくした画用紙を触ると「いたい」「ちくちくする」「こわい」と思ったことを話していました。遊んでいる場面で「いれて」と言うたとき、「いいよ」と言われるとどんな気持ち？「うれしいきもち」「じゃあ「やだよ。」と言われたら？「かなしいきもち。」と素直な気持ちを答えていました。どちらを言われたらうれしいかを確認し合っていました。やさしい気持ち、うれしい気持ちがいっぱいあふれる保育園になるといいな、と日々感じています。



## 城南中・城北中のチームが出場 北信越中学校駅伝競走大会結果

11月26日、第16回北信越中学校駅伝競走大会が長野市陸上競技場周回コースで行われ、飯山市からは長野県大会を好成績で勝ち進んだ、城南中学校の男子チーム・女子チーム、城北中学校の女子チームがそれぞれ出場しました。

男女ともに30チームが出場した北信越大会の結果は以下のとおりです。

- 男子の部
  - ・第20位 城南中学校
- 女子の部
  - ・第14位 城南中学校
  - ・第28位 城北中学校

